

対応事項
被害概要は
どこで
いつ
どこを
症状は
周囲の環境
調査場所
虫の形態
主な発生時期
虫の習性等
原因虫

虫にさされた、かまれた、かゆい

室内

外

夜間又は暗所でさされた。

知らないうちにさされた

野山でさされた

腹部、大腿部、膝の下部体の柔らかい部分をさされた

腹部、大腿部、膝の下、手のひら、指股、陰部等をさされた

首すじ、腕等体の露出部分や膝の下、腹部等体の柔らかい部分をさされた

腹部、膝の下部体の柔らかい部分をさされた

手、足、首等体の露出部分をさされた

すね、大腿部、腹部等体の柔らかい部分をさされた

赤丘疹、小水疱、激しいかゆみ

手、指に発疹、水疱
腹部、膝の下、腕、ももに小丘疹。特に夜間に激しいかゆみ
皮膚にカイセントネル

紅斑が生じ、1~2日後に激しいかゆみ

相当の時間経過後、激しいかゆみがあり、発熱することもある

赤くはれ、かゆい
虫の口器が皮下に入り化膿することもある
野兎病

発熱、リンパ節腫脹、全葉に発疹
ツツガ虫病は届出伝染病に指定されている

ネズミの巣がある

ニワトリ、飼鳥、野鳥の巣がある

家族、共同生活者も同様な症状

貯蔵食品
袋が比較的新しい

貯蔵食品 産
袋のワラ

地表、草上

山林、草原の地表や地中

畳、ジュエタン、布団等各所の調査

布団、肌着、シーツを調査

食品、袋、布団、枕等を調査

食品、袋のワラを調査

さされた場所の付近を調査

さされた場所の付近を調査

未吸血時 白~淡褐色
吸血時 赤~黒色
体長 0.5~0.7mm

イエダニに似る
未吸血時 無~褐色
吸血時 赤~黒色
体長 0.5~1.0mm

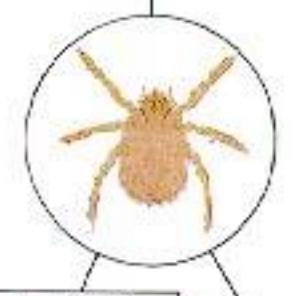
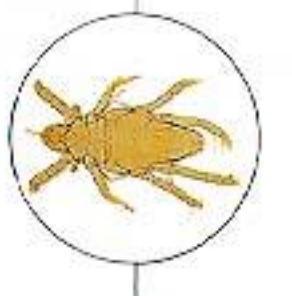
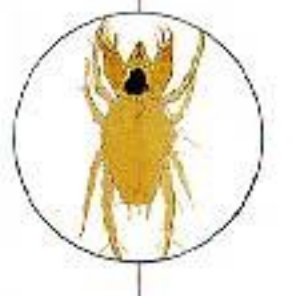
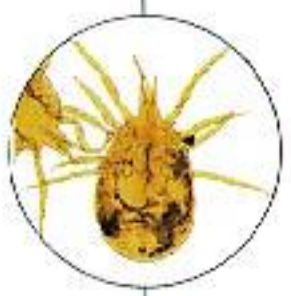
体長 0.3~0.4mm

乳白色~淡赤色
体長 0.2~1.0mm

淡黄赤色
体長 0.2mm

褐色
体長 数mm~1cm

体長 1mm
幼虫 0.2~0.3mm



発生 年中
被害 6~9月

発生 5~11月
被害 5~7月

発生 年中
被害 不潔な集団生活者

発生 4~11月
被害 6~10月

発生 4~11月

淡赤色
被害 夏
被害 秋~冬
被害 春、秋~冬

CO₂に寄ってくる

主に2階でさされる

コナダニ、ヒョウヒダニ、チャタテムシの捕食

コクゾウムシ、キクイムシ等甲虫の幼虫や鱗翅目の幼虫に寄生

イエダニ

スズメサシダニ
ワクモトリサシダニ

ヒゼンダニ

ツメダニ類

シラミダニ

マダニ類

アカツツガムシ
タテツツガムシ
フトケツツガムシ